開倫塾ニュース2015年1月号巻頭言	2014年11月18日

3学期は3大検定全塾生受験、全塾生合格を

―「英語検定」「漢字検定」「数学・算数検定」で学力を飛躍的に向上しよう―

開倫塾
塾長 林　明夫

Q：まずは、中3と高3の受験生に一言どうぞ。

A：(林明夫、以下省略)

(1)私立高校入試や大学入試センター試験までは、あとわずかとなりました。一分一秒も無駄にせず、眠る時間以外は全力を尽くして受験勉強に励んでください。

(2)開倫塾の中3生の皆様は、よくこれまで「英語検定」と「漢字検定」の試験を受験し、学力を身に着けてきましたね。立派です。高く評価します。

(3)12月6日(土)の「数学検定」は、中3生の皆様が一人残らず受験手続きを済ませました。「数学検定」に合格するための学習は、高校入試に直結します。学校の定期試験や模擬試験にも直結し、役に立ちます。全力を傾けてひたすら数学を学習し、合格を目指してください。12月6日の「数学検定」を通じて、数学の学力を飛躍的に向上させましょう。

(4)2学期終了時までに「英語検定」「漢字検定」「数学検定」の各検定で中学校修了程度と言われる「3級」を取得しなかった中3生は、3学期に行われる各検定を必ず受験しましょう。そして、3級取得を果たしてから高校に進学してください。3学期の各検定3級受験は、高校入試ばかりでなく、高1の学習にも役に立ちます。各検定3級合格者は、すべての高校で歓迎されます。また、3級未取得者は多くの高校で入学後に3級を取得するように奨励(しょうれい)されます。

(5)開倫塾の全塾生は、在籍している間に3大検定の3級を必ず受験して合格を果たし、高校に進学してください。

(6)同様に、高3生は2級に合格してから大学に進学してくださいね。

Q：小学生と中1・2生、高1・2生も3学期にある3大検定を受験するのですね。

A：はい、その通りです。

(1)開倫塾では、学力を飛躍的に向上させるには、個別指導を含めた全塾生が「英語検定」「漢字検定」「数学(算数)検定」を1年に1回以上受験し、全塾生がそれらすべてに合格することが最も効果的と考えています。

(2)そこで、1年の締めくくりの学年末試験のある全塾生が3学期に3大検定を受験して合格を果たし、学年末試験でもよい点数を取って次の学年に進学・進級してほしいと考えます。

(3)来年4月に始まる新学年でよい成績を取るには、前学年までの学習内容を完全に身に着けておくことが大切です。3大検定の受験と合格のための学習は、学年末試験でよい点数を取るの

はもちろん、新学年でもよい成績を収めることに繋がります。

（４）各検定の受験と合格のための学習は、中学校入試・高校入試・大学入試などのすべての入学試験にも直結します。合格結果は調査書に記入され、合否の参考にする学校が多いようです。

（５）履歴書に書けるため、就職試験にも有利です。また、合格を果たすと自信にもなります。

（６）例えば、私は中３生の２学期に英語検定３級に合格し、朝礼で校長先生から合格証を渡されてほめて頂いたことが、それからの勉強の励みになりました。また、英語を学ぶことが好きになり、自信にも繋がりました。

Ｑ：各検定の何級を受験すればよいのですか。

Ａ：（１）各検定には受験の目安(めやす)として「学年相応の級」が示されています。開倫塾の先生と十分に相談の上、できれば学年相応の級を受験してください。

（２）実力がそこまでに至らないと思われる方は無理をせず、開倫塾の先生と十分に相談の上、受験日までがんばれば合格できる級を受験してください。そして、先生と十分に相談の上、今の学年相応の級を 2015 年度の１学期か２学期に取得するように心掛けてくださいね。

（３）ただし、中３生は、３学期までに３級を受験して合格を果たした上で高校に進学してください。

（４）既に、学年相応の級を取得している方は、是非、次の級に挑戦・チャレンジして合格を果たしてください。勉強に遠慮は一切不要です。得意な科目は自分の力でどんどん先へ先へと進んでくださいね。

Ｑ：どのようにして、３学期に３大検定のすべてに合格を果たしたらよいですか。

Ａ：（１）開倫塾の先生の指示通りに、自分で計画を立ててコツコツと学習してください。

（２）一度学習した内容の「すべて」を何回も何回も繰り返して「学習し直す」ことが合格の秘訣です。

（３）「間違えた問題」は、ていねいに学習し直して二度と間違えないようにすることも大切です。

（４）つまり、何回も「学習し直す」ことが大切なのです。

Ｑ：最後に一言どうぞ。

Ａ：（１）「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」は、とりわけ「３大検定」に絶大の効果を発揮します。

（２）「練習は不可能を可能にする」、「定着のための３大練習は、３大検定合格を可能にする」、「練習、練習、また、練習」です。

がんばってくださいね。

― 2014 年 11 月 18 日―